

水島製油所において震災対策として増強した原油処理能力(20千BD)の削減について

記者各位

当社(社長 木村 康)は、東日本大震災後の石油製品供給安定化策の一環として、2011年3月21日に、水島製油所の原油処理能力を20千BD増強いたしました~~が~~、このたび仙台製油所が生産再開したことを受け、3月31日(予定)に、水島製油所の原油処理能力を20千BD削減し、震災前の能力に戻しますので、お知らせいたします。

<水島製油所の概要>

2010年7月のJX日鉱日石エネルギー株式会社発足に伴い、旧新日本石油株式会社水島製油所(現「A工場」と、旧株式会社ジャパンエナジー水島製油所(現「B工場」)の一体運営を開始した、国内最大の原油処理能力を有する製油所。

所在地 : 岡山県倉敷市
操業開始 : 1961年(A工場、B工場とも)
原油処理能力 : 380千BD(20千BD削減後、コンデンセートスプリッター(35千BD)込み)

<当社グループ製油所の概要>

製油所体制 室蘭製油所(北海道室蘭市)
仙台製油所(宮城県仙台市)
鹿島製油所(鹿島石油株式会社運営、茨城県神栖市)
根岸製油所(神奈川県横浜市)
大阪製油所(大阪国際石油精製株式会社運営の輸出型製油所、大阪府高石市)
水島製油所(岡山県倉敷市)
麻里布製油所(山口県玖珂郡和木町)
大分製油所(大分県大分市)

原油処理能力 1,605.7千BD(20千BD削減後、コンデンセートスプリッター(98.5千BD)込み)
※輸出型製油所である大阪製油所を除くと、1,490.7千BD

以上

※当初発表した内容に一部誤りがありましたので、2012年4月5日に修正いたしております。